

平成20年5月18日発行

イレブン杯春季リーグが開幕!

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、4月26日に開幕しました。今年度からディビジョン制を採用している今大会。ディビジョン1は10チーム、ディビジョン2は24チームの3ブロックに分かれ、大雪ライオンズクラブ旗への出場権を争います。26日の開幕試合では昨年度の全道新人戦準優勝の啓北中を広陵中が1対0で破る幸先のよいスタートをきりました。大会は6月15日の最終節まで、129試合が行われます。

第1節 4月26日(土) 啓北中学校

D1 広陵1 - 0 (1 - 0) 啓北

得点者 富樫(14分)(広)

開始直後から広陵は富樫がスピードを生かして攻撃をしかける。啓北の攻撃には高橋がよく対処する。14分広陵は伊藤のセンタリングからこぼれ球を富樫が左足で先制点をあげる。啓北は山内を軸に反撃をかけるが、深川を中心とした広陵守備陣の堅い壁を崩せず、1対0でD1の開幕戦は広陵が勝利した。



啓北vs広陵(啓北中学校)

D2A 東神楽2 - 0 (1 - 0) 忠和

得点者 0・G(14分), 東(50分)(東)

東神楽は14分杉原のCKからオウンゴールを誘い先制点をあげる。追いかける忠和は、大西、堀田が果敢にゴールを狙うが枠をとらえられず。さらに山根がサイドチェンジやスルーパスでチャンスを作り出すもののゴールを割れない。東神楽は50分東が25mのミドルシュートで追加点をあげる。GK根本、DF北村の守備も光って2対0で勝ち点3をあげた。

D2A 北星1 - 0 (1 - 0) 神居

得点者 本田(57分)(北)

北星はMF本田を中心に何度も中央突破を試みるが、神居はDF阿部が守備陣を牽引しゴールを割らせない。GK佐藤も幾度となく放たれるシュートを好守で切り抜ける。スコアレスドロウかと思われた57分、北星は浅川が右サイドを突破しセンタリング。本田が冷静にワントラップして決勝点を右隅に流し込んだ。

上富良野vs北都(啓北中学校)

D2B 上富良野2 - 0 (1 - 0) 北都

得点者 高木(27分), 畑中(40分)(上)

警告 岩男(上)

上富良野が押し気味に試合を進める。裏へのロングパスから畑中が再三決定的なシュートを放つが、バーやGK長谷川の好守に阻まれる。27分上富良野は高木がゴール前に大きく弾むボールを体で押し込んで先制する。40分には畑中が三瀬から



のワンタッチの折り返しを豪快に右隅に決める。北都1年生GK長谷川の好守もあったが、上富良野が2対0で勝利した。

東陽中学校

D2C 春光台2 - 0 (1 - 0) 東陽

得点者 矢吹(25分), 佐藤(32分)(春)

前半春光台がボールを支配。2度シュートがバーにあたる不運となる。東陽は一発で浦を狙う速攻でチャンスをうかがう。25分春光台は小野のCKを矢吹が頭で決めて先制する。さらに後半立ち上がりの32分にも右サイドからのセンタリングを佐藤が押し込んで追加点を奪い、春光台が2対0で開幕戦を飾った。

花咲球技場 D2C 永山南9 - 0 (5 - 0) 美瑛 山本(1分, 20分, 23分, 24分, 50分), 安念(27分), 猪股(47分, 56分), 萩谷(52分)(永)

キックオフ直後山本が中央突破して1分に永山南が先制点をあげる。その後も永山南ペースで進み、山本は得点を重ね5得点。後半美瑛も反撃に出るが、得点をあげられず。永山南が大勝した。

D1 コンサドーレ旭川1 - 0 (0 - 0) 永山

得点者 高木(55分)

警告 鈴木(永)

前半から一進一退の攻防が続いていたが、両チームともチャンスを得点につなげることができない。しかし、55分コンサはゴール前の混戦からこぼれ球を高木が左足でシュートを決め決勝点を奪った。

D1 北門0 - 0 (0 - 0) 神楽

警告 首藤(神)

前半から一進一退の攻防が続いていたが得点には至らず。後半神楽の直接FKもあったが、ノーゴールのまま試合は終了した。

花咲球技場

D2B パステーク2 - 1 (0 - 1) 中富良野

得点者 月岡(34分, 41分)(パ) 斉藤(24分)(中)

警告 工藤(中)

前半はお互い攻めあぐねるが、24分中富良野は中央からドリブルで持ち込み先制する。後半はパステークペースで試合は進む。34分パステークはPKを月岡が決め同点に追いつくと、41分にはまたも月岡が25mのミドルシュートを決め逆転に成功した。

D2C 永山南9 - 0 (5 - 0) 美瑛

得点者 山本(1分, 20分, 23分, 24分, 50分), 安念(27分), 猪股(47分, 56分), 萩谷(52分)(永)

キックオフ直後山本が中央突破して1分に永山南が先制点をあげる。その後も永山南ペースで進み、山本は得点を重ね5得点。後半美瑛も反撃に出るが、得点をあげられず。永山南が大勝した。

D2B 明星2 - 0 (2 - 0) 増毛

得点者 大森(16分), 稲田(22分)(明)

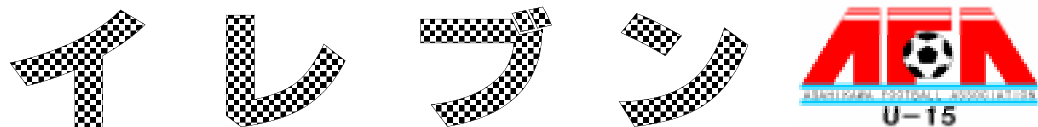
警告 稲田, 大西(明)

前半両チームともしっかりとしたパスワークから再三チャンスを作るが、決定的なシュートには至らない。16分明星はカウンターから大森がGKをかわして先制点を決める。さらに22分には稲田が追加点をあげ、明星が逃げ切った。

D1 愛宕1 - 1 (0 - 0) 六合

得点者 越智(46分)(愛) 柳原(59分)(六)

両者とも一歩も譲らない攻防。シュートチャンスはあるもののゴールを割ることができない。46分愛宕はカウンターから越智が抜け出しループシュートを決め先制する。しかし、六合はロスタイム柳原がゴール前の混戦から同点シュートを放った。



平成20年5月18日発行

イレブン杯春季リーグが開幕！ U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

4月26日に開幕したU-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、27日に第2節が行われました。コンサフィールドでは神楽中がコンサドーレ旭川と対戦。U-14中心のコンサドーレ旭川に対し、神楽はコンパクトなサッカーを展開し、1対0で勝利をあげました。また、緑が丘会場では緑が丘と附属が対戦。3対0という予想外のスコアで緑が丘が会心のスタートを切りました。

第2節 4月27日(日)
コンサフィールド東川

D1 神楽1-0(1-0)コンサドーレ旭川

得点者 0・G(21分)(神)

互いに浅いディフェンスラインをひき、コンパクトなサッカーで好ゲームを展開。神楽は首藤から再三DFとGKの間にスルーパスを送り、小沢、田畑がゴールを狙う。コンサドーレは右サイドの岸本からオーバーラップをからめた攻撃で反撃する。21分神楽はスローインのボールを首藤がセンタリング。これがオウンゴールを誘って先制。後半コンサは高木を軸に左サイドから攻撃をしかけるが、寺林を中心とした神楽DF陣のラインコントロールの前に得点できずに終わる。



D2A 港南2-0(0-0)東神楽

得点者 植松大(41分)、大石(59分)(港)

序盤から東神楽が優勢に試合を進めるが、港南GK五十嵐が素早い動きで守りきる。41分港南は、中央からスルーパスが出ると植松大が反応。ゴール右上に蹴りこみ初のチャンスを生かす。さらに59分にはまたも中央突破から大石がGKの出鼻をゴールに流し込み勝利を決定づける2点目を奪った。

D1 啓北2-1(0-1)六合

得点者 茂木(46分、48分)(啓) 渡辺(12分)(六)

啓北は山内を中心に攻め込むが、動きが連動せずちぐはぐな攻撃に終始する。六合はカウンターから柳原、渡辺のスピードを生かした攻撃で啓北ゴールに迫る。12分六合は渡辺

がCKからヘッドで決めて先制する。啓北は46分茂木がCKのこぼれ球をヘッドで押し込み同点。48分には左サイドからの茂木のクロスがそのままゴールインするラッキーな得点で逆転。啓北が勝ち点3を拾った。

D2C 神居東2-1(1-1)富良野西

得点者 村中(29分)、阿部(47分)(神) 西原(29分)(富)

強風の中富良野西が押し気味に試合を進める。29分神居東村中が右サイドから持ち込んで先制点を決める。しかし、そのキックオフ直後富良野西は西原がスピードに乗ったドリブル突破で同点シュートを決める。ますます強くなる強風の中、両チームともドリブルから活路を見いだそうとする。そして47分神居東は飛び出してきたGKをかわして阿部が決勝点をあげ勝利を飾る。

緑が丘中学校

D2B 東明3-1(2-1)パステーク

得点者 松井(2分)、石川(26分)、佐々木(47分)(東) 月岡(8分)(パ)

東明がやや優勢に試合を支配するが、パステークもアプローチの速さで対抗する。2分東明は松井が右サイドからドリブルし、ゴール右隅に先制点を決める。パステークも8分、相手クリアミスで月岡が30mの距離からロングシュートを決める。しかし、東明は26分木下のクロスから石川が決めて勝ち越すと、47分には佐藤の右サイド突破から生まれた混戦で、佐々木がヘッドで勝利を決定づける得点をあげた。

D1 緑が丘3-0(2-0)附属

得点者 荒川翔(10分)、近江(14分)、豊田(58分)(緑)

警告 堀内(附)

緑が丘がボールを支配し、試合を優勢に進める。10分には中央突破から荒川翔がリバウンドをシュートし先制する。さらに14分には右からのセンタリングが流れたところを近江が合わせ2点目をあげる。附属も反撃するが、緑が丘にしのご、終了間際には豊田が駄目押しの3点目をあげた。

D2A 東光10-0(4-0)富良野東

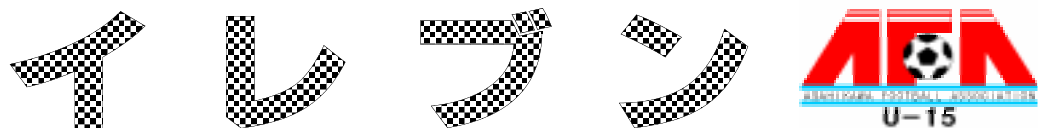
得点者 石川(3分、15分、45分、50分)、加賀美(14分、21分)、
田中(33分、44分、48分)、尾形(52分)(東)

終始東光がボールを支配して、攻撃に出る。東光は田中を中心にゲームを組み立て、3分に石川が中央でボールを受けループシュートを決めると、14分には加賀美が加点。15分にも石川が追加点をあげると、ゴールラッシュ。石川、田中のハットトリックで快勝した。

D2C 春光台2-2(1-0)美瑛

得点者 渡辺(26分)、矢吹(54分)(春) 福原(49分)、金刺(59分)(美)

終始春光台のペースで試合は進むが、美瑛も金刺を中心にカウンターで対抗する。26分春光台は渡辺が中央からミドルシュートを決め先制。しかし、美瑛も福原が49分PKを決め同点に追いつく。春光台は54分矢吹が加点するが、粘る美瑛は59分金刺がドリブル突破から起死回生の同点ゴールをあげた。



平成20年5月18日発行

緑が丘と神楽一步も譲らずドロー

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

4月26日に開幕したU-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、29日早くも第3節を迎えました。第3節では、緑が丘と神楽が対戦。両チームとも一步も譲らずドローに終わりました。

第3節 4月29日(火)

D1 緑が丘 1 - 1 (1 - 0) 神楽

得点者 近江(21分)(緑) 小澤(55分)(神)

序盤は緑が丘が優勢に試合を進めるものの決め手を欠いていた。しかし、21分近江がドリブルから抜け出し、先制点をあげる。後半、神楽が攻勢に出て互角の展開。55分ゴール前のクリアボールを小澤が蹴りこみ同点に追いついた。

D1 愛宕 2 - 1 (2 - 1) コンサドーレ旭川

得点者 越智(7分, 25分)(愛) 0・G(23分)(コ)

9分愛宕は越智が中央から放り込まれたボールを受けて先制点をあげる。しかし、コンサは23分センタリングからオウンゴールを誘って同点に追いつく。だが、その2分後愛宕は越智が再びドリブルシュートを決め勝ち点3をあげる。

D2A 北星 8 - 1 (4 - 1) 東光

得点者 本田(5分, 19分, 27分, 31分), 小林(24分, 49分, 53分, 58分)(北)

田中(6分)(東)

警告 小林(北)

北星は5分FKのこぼれ球を本田が決めて先制する。東光も6分右サイドからのFKを田中が直接決めて一度は同点に追いつく。しかし、北星は19分浅川のパスから本田は勝ち越し点をあげると、24分には新重、浅川とつないで小林が加点。その後は本田、小林が共に4得点する活躍で東光に圧勝した。

啓北中学校

D1 啓北 2 - 0 (1 - 0) 永山

得点者 藤原(23分), 山内(35分)(啓)

警告 茂木(啓)

啓北がサイド攻撃をしかけるのに対し、永山は佐藤のスピードを生かしたカウンターで対抗。23分啓北は山内のセンタリングに藤原がヘッドで合わせて先制。さらに35分には山内がペナルティエリア外からドリブルで割って入り、左足で貴重な追加点をあげた。

D1 北門 2 - 0 (1 - 0) 附属

得点者 鈴木(4分), 中西(52分)(北)

警告 石ヶ森, 坂本(附)

附属がボール支配率には勝るが、北門は4分木村のパスを受けた鈴木が飛び出すGKの頭上越しに35mのループシュートを決めて先制する。その後も坂本、大塚を中心に攻撃をしかける附属だが、北門もよくしのぐ。52分北門は35mのFKを中西が直接蹴りこみ勝利を決定的なものとした。



D1 広陵 1 - 0 (1 - 0) 六合

得点者 小野(21分)(広)

警告 永井, 野村(六)

田中を中心として中盤でボールを拾う広陵だが、六合中盤の厳しいプレッシャーのため、支配率は高いもののなかなかシュートチャンスをつかめない。しかし、21分大沼のCKを高橋が合わせ、最後は小野が先制点をあげる。六合もその後柳原、渡辺を中心にカウンターから反撃をするが深川を軸とした広陵ディフェンスを崩せず。

D2C 春光台 7 - 0 (3 - 0) 鷹栖

得点者 朝倉(13分, 25分, 52分), 小野(19分), 米山(49分), 浅見(56分), 矢吹(59分)(春)

序盤は中盤の底で、MF朝倉がボールを左右に展開して春光台がリズムをつかむ。13分には右クロスからのこぼれ球を朝倉がペナルティエリア外からミドルシュートを決め先制する。さらに19分には矢吹、米山と渡った渡ったボールを小野が決めて追加点をあげる。右サイドの小野、中央の矢吹を中心に攻撃した春光台が、朝倉のハットトリックの活躍もあり快勝した。

序盤は中盤の底で、MF朝倉がボールを左右に展開して春光台がリズムをつかむ。13分には右クロスからのこぼれ球を朝倉がペナルティエリア外からミドルシュートを決め先制する。さらに19分には矢吹、米山と渡った渡ったボールを小野が決めて追加点をあげる。右サイドの小野、中央の矢吹を中心に攻撃した春光台が、朝倉のハットトリックの活躍もあり快勝した。

中富良野中学校

D2A 忠和 8 - 1 (4 - 0) 富良野東

得点者 山根(6分, 37分), 佐藤光(16分), 伊藤(41分, 56分), 井澤(50分), 佐藤恒(20分, 52分)(忠) 彦根(53分)(富)

6分忠和は左サイドのスローインから最後は山根が先制点をあげる。さらに16分には佐藤光がミドルシュートを決め2点目。さらに20分には佐藤恒が左からのクロスに合わせて3点目をあげる。その後の攻撃の手を緩めない忠和は8点をあげる猛攻。富良野東は53分に彦根が一矢を報いる1点に終わった。

D2B 上富良野 5 - 1 (3 - 0) 東明

得点者 0・G(4分), 岡本(12分, 高松(28分, 50分), 中田(45分)(上)

木下(48分)

序盤から上富良野ペース。4分CKからオウンゴールで先制する。さらに12分にはオウンゴールで追加点を奪う。28分にも高松が加点する。後半東明が反撃に転じるが、逆に上富良野中田に4点目をあげられる。わずかに48分に木下が1点を返すのみに終わる。

D2B 北都 4 - 3 (3 - 1) 中富良野

得点者 工藤(6分, 27分), 若狭(17分, 37分)(北)

斉藤(13分, 51分, 55分)(中)

北都は6分CKの跳ね返りを再び折り返すと工藤が先制ヘッドを決める。中富良野も13分、DFの背後に飛び出した斉藤が同点シュートを決める。しかし、北都は17分若狭がドリブルから勝ち越し点をあげると、27分、37分に工藤、若狭が加点。終盤中富良野も斉藤が2点を返すものの万事休す。

D2C 富良野西 3 - 1 (1 - 1) 美瑛

得点者 西原(12分, 49分), 山崎(43分)(富) 金刺(8分)(美)

8分美瑛はペナルティエリア右外で得たFKを金刺が直接決めて先制する。しかし、富良野西もリズム良く攻め、12分熊谷のセンタリングを西原が押し込み同点に追いつく。後半立ち上がりは美瑛がチャンスをつかむが、富良野西GK丸谷のファインセーブに阻まれる。43分熊谷のアシストから山崎が勝ち越しゴールをあげると、49分には西原がカウンターから駄目押しの3点目をあげた。

留萌中学校

D2C 留萌 3 - 0 (1 - 0) 東陽

得点者 渡瀬(15分), 中土井(45分), 大島慎(55分)(留)

警告 大黒(東)

留萌は中土井と渡瀬を中心としたパスワークから東陽陣内にせまる。東陽はカウンターから留萌ゴールに迫るがGK石川に阻まれる。15分に留萌は渡瀬が相手のクリアミスを持ってペナルティエリア外から先制点をあげる。後半に入り、45分藤井のドリブルから中土井が追加点をあげると、55分大島拓のシュートのこぼれ球を大石慎が豪快に決めて勝利を決定づけた。

D2A 神居 3 - 2 (1 - 0) 港南

得点者 宮崎(8分), 吉田(33分), 谷越(39分)(神) 植松正(44分, 57分)(港)

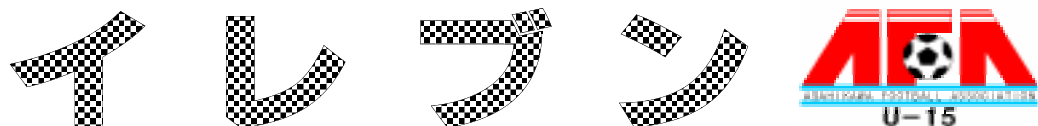
退場 植松正(港)

試合開始早々から神居ペースで進む。神居はサイドに展開するパスがつながり、何度も港南ゴールを脅かす。8分には宮崎がゴール前に抜けて先制点をあげる。後半に入ってもリズムをつかんだ神居は、33分吉田、39分谷越が追加点をあげる。40分過ぎから港南も反撃。植松正、土田を中心に攻撃をしかけ、植松正が2得点するが反撃もここまで終わる。

D2B 増毛 1 - 0 (1 - 0) パステーク

得点者 太田(26分)(増)

増毛は林を中心として正確なパスワークで、広く展開。パステークは佐藤和、月岡らが左サイドからゴールを狙う。増毛は26分中盤でパスカットした太田が相手DFをドリブルでかわして先制点を決める。後半も林、太田をを起点に数多くのシュートを放った増毛ペースのまま、試合は終了した。



平成20年5月18日発行

広陵が開幕3連勝でD1首位を走る。

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

平成20年度U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、5月3日に第4節8試合が行われました。啓北中学校会場では首位を走る広陵が永山を5対1と一蹴し、3連勝を飾りました。

第4節 5月3日(土) 啓北中学校

D1 啓北 1 - 0 (1 - 0) 神楽

得点者 藤原(3分)(啓)

序盤試合は永北ペースで進む。啓北はFW藤原、笠原に集め得点チャンスをうかがう。3分啓北は中央でボールを受けた笠原が中央やや左に流れた藤原にパス。藤原はドリブルでペナルティエリアに進出し左足で先制点をあげる。神楽は素速い切り替えからカウンターで得点をねらう。後半に入り、啓北の攻撃が増し、神楽ゴール前に集まる場面が増える。しかし、この時間帯をしのいだ神楽は首藤を中心に中盤を支配し出す。終了間際には、首藤のFKもポストを叩き、万事休す。

D1 広陵 5 - 1 (2 - 0) 永山

得点者 富樫(11分), 小野(23分, 32分),
高橋(35分), 松岡(46分)(広)
志摩(44分)(永)

田中, 松岡が中盤を支配する広陵は、風上ということもあり一方的に攻撃する。11分には伊藤のセントリングを富樫が鮮やかなボレーシュートを決め先制する。さらに23分には大沼の左CKをフリーの小野が合わせて追加点を奪う。富樫, 小野の素速い動きだしを起点とする広陵は、後半も攻撃の手を緩めない。32分には伊藤のアシストから小野が加点。さらに35分には松岡のパスから高橋が4点目を決める。永山も後半は佐藤をターゲットに幾度か攻撃を見せ、44分には鈴木クロスの志摩が1点を返す。しかし、46分松岡がFKを決め、広陵が快勝した。



D2B 東明 1 - 0 (0 - 0) 聖園

得点者 石川(32分)(東)

風上の東明は右サイドから佐藤のオーバーラップからチャンスを探す。しかし9人(うち4人は1年生)の聖園は一人一人が身体を張ったプレーで対抗。最終ラインの増川, 毛利が東明の攻撃陣を完全にストップする。さらにその後方には守護神の谷本が東明のシュートをポジショニング良く防ぐ。後半開始早々の33分, 東明は荒井のクロスに石川が走り込んで先制点を奪う。しかし、その後の攻撃は谷本のファインセーブもあり防がれる。聖園も終盤千葉のがんばりからFKを得, GK谷本が直接狙うが、惜しくもバーを越え1対0で惜敗した。



D2C 春光台 3 - 2 (0 - 1) 富良野西

得点者 朝倉(50分), 小野(58分), 渡部(59分)(春)
関戸(10分), 増澤(40分)(富)



春光台は矢吹が中心となって中盤をコントロールし、前線にスルーパスを出すものの得点ならず。富良野西は風上を利用し、大きな展開から関戸が10分先制点を奪う。後半にり、春光台は押し気味に進めるもゴール前の正確性に欠けなかなか得点を奪えない。富良野西は西原がよくボールを拾い、ディフェンスラインの裏にボールを出してチャンスをつくる。40分には西原のスルーパスから熊谷がシュート。こぼれたところを関戸がつめて追加点を奪う。このまま終わるかと思われたが、50分朝倉が中央をドリブル突破し1点を返してから春光台が猛反撃。58分には小野が中央からミドルシュート。そしてロスタイムには渡部がFKを直接決め大逆転する。

D2C 神居東 6 - 0 (3 - 0) 鷹栖

得点者 村中(23分, 25分), 鷲見(26分, 42分),
中鉢(53分), 阿部(59分)(神)

前半から神居東のペースで試合は進み再三シュートチャンスを得るがなかなか鷹栖ゴールを奪えない。しかし23分のパスから村中が先制点。さらに25分には相手のクリアミスで村中が追加点。26分にはのアシストから鷲見が3点目をあげる。後半鷹栖もカウンターから反撃を試みるが、神居東は鷲見, 中鉢, 阿部と加点し6対0で快勝した。

コンサフィールド東川

D1 コンサドーレ旭川 1 - 1 (0 - 1) 北門

得点者 武井(コ)鈴木(北)

前半はどちらも譲らない一進一退の攻防。21分北門は高橋龍が中盤でインターセプトし、ドリブルしパス。受けた鈴木が冷静にDFをかわし先制点をあげる。後半コンサはCKからつながったボールを武井がヘッドで押し込み同点に追いつく。その後はコンサが優勢に試合を進めるが、両チーム得点をあげられずドローに終わる。

D1 愛宕 1 - 1 (0 - 1) 附属

得点者 斉藤(59分)(愛)大塚(14分)(附)

序盤やや押し気味に試合を進める附属。14分坂本が右サイドの大塚にスルーパス。このパスを大塚がゴール左へ先制点を決めた。後半も附属がGKと1対1になるなどのチャンスをつかむが、愛宕GKも好セーブにあいチャンスを生かせない。そしてロスタイム愛宕はカウンターから越智が右サイドにパス。斉藤が値千金の同点ゴールをあげ、土壇場で追いついた。

D2A 東神楽 1 - 1 (1 - 0) 北星

得点者 東(東)村上(北)

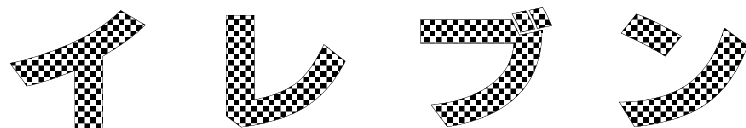
前半両チームとも相手DFラインの裏にボールを出してFWが走る展開。風上の北星がやや優位に進めシュートチャンスも多い。しかし東神楽は26分, ゴール前の混戦からのこぼれ球を東が右足でミドルシュートを決め先制する。1点を追いかける展開となった北星は33分, 右からのセントリングを村上がヘッドで押し込み同点とする。結局試合はこのままドローに終わった。

D2C 美瑛 2 - 1 (1 - 1) 東陽

得点者 浦島(21分), 金刺(58分)(美)
粥川(28分)(東)

前半両チームともゴール前まで攻め込むがシュートまで持ち込まず一進一退の攻防。21分美瑛はこぼれ球を浦島が先制シュートを決める。しかし、東陽も28分右サイドのセントリングから最後は粥川がゴールし同点に追いつく。後半東陽が押し気味に展開するが美瑛も速攻からチャンスをつくる。そして58分美瑛はスルーパスに反応した金刺がGKとの1対1を決め、2対1の勝利に貢献した。





平成20年5月18日発行

中盤にさしかかったイレブン杯春季リーグ

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

4月26日に開幕したU-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、5月4日から18日にかけて4節12試合が行われました。第5節のコンサフィールド東川では、カブスリーグ所属チーム同士のコンサドーレ旭川と啓北が対戦。コンサ旭川は今大会初めてベストメンバーで臨みましたが、啓北の堅い守備を崩せずスコアレスドローに終わりました。18日までに全129試合中、4割強の試合が消化。まだまだ各グループとも予断を許さない、しのぎを削る戦いが続きます。

第5節 5月4日(日)

D1 コンサドーレ旭川0 - 0 (0 - 0) 啓北

リトリートし、カウンターから攻撃の糸口を狙う啓北に対し、コンサはしっかりとポゼッションし、圧倒的にボールを支配する。しかし、動きに連動性がなく、突破のパスが生まれなため、シュートにはなかなか至らない。対する啓北も攻撃に人数がかけられず、互いにシュート数が少ないまま前半は終了する。後半は啓北も前線にやや人数をかけ、攻撃の形が見られる。コンサは山下や阿羅が中盤でドリブルをしかけ、啓北ディフェンスを慌てさせる。しかし、茂木、高橋竣のCBが堅い守りを見せる。コンサ、啓北ともにシュート3本ずつに終わり、両チームとも最後まで啓北守備陣を崩せず、スコアレスドローに終わった。



D2A 北星2 - 0 (1 - 0) 東川

得点者 本田(9分)、本宮(37分)(北)

北星は本田を起点に右サイドの吉田を走らせてチャンスを作る。9分には中盤で本田が吉田にスルーパス。吉田の折り返しに40m走り込んだ本田がダイレクトで合わせて先制点を奪う。後半に入っても小林、吉田を中心に北星がボールを支配。37分には本田が前線に浮き球を送ると、本宮が身体を張りながらシュート。一度はGKに防がれたが、粘り強く再度ゴールに蹴りこみ追加点をあげた。

第6節 5月5日(月) コンサフィールド東川

D1 コンサドーレ旭川2 - 1 (1 - 0) 六合

得点者 細岡(19分)、岸本(56分)(コ) 渡辺(42分)(六)

前半は風上のコンサが押し気味に試合を進める。19分には右サイドから細岡のクロスボールが風に乘って直接ゴールインし先制する。六合も渡辺がFKのチャンスをつかむが得点ならず。後半は逆に風上にたった六合が渡辺、柳原を中心にボールをよく拾い、スピードを生かして攻撃にからむ。玉田を中心によく守っていたコンサだが、42分には左サイドから渡辺が風を利用し、直接FKを決める。しかし、1点を取られた後、コンサは左サイドの田中、原田を中心にパスがつながり始める。岸本も中盤でボールを左右によく展開する。そして56分宮本が右からドリブルで上がり、ゴール前の岸本にパス。岸本は倒れ込みながらゴールバーのすぐ下に決勝点を決めた。

第7節 5月10日(土) 花咲球技場

D1 コンサドーレ旭川0 - 0 (0 - 0) 広陵

前半は互いにボールを奪い合うペースが続くが、徐々にコンサがペースをつかみだし、吉本らがシュートチャンスをつかむ。広陵も田中を中心に反撃し、CKなどから決定機をつかむ。後半コンサは中盤から両サイドに展開して攻撃、広陵はトップへの速い展開でチャンスをつかむ。しかし、コンサGK武島のファインセーブ、広陵DF深川を中心とした守備でスコアレスドローに終わる。

D2C 永山南4 - 0 (2 - 0) 留萌

得点者 山本(11分、24分、41分)、片山(43分)(永)

ボールを支配した永山南は、11分藤原祐がロングシュート。GKがはじいたところを山本が押し込み先制点をあげる。さらに24分には藤原貴が抜けだしパスを送ると山本がダイレクトで決める。後半に入っても永山南の攻勢は続き、41分山本がドリブルでDFをかわしてゴール。ハットトリックを完成させる。43分には山本のセンタリングを片山が押し込んで4点目を奪い、快勝した。

D2A 忠和8 - 0 (3 - 0) 港南

得点者 山根(9分、29分、58分)、井澤(14分、52分)、堀田(41分)、佐藤恒(48分)、大西(55分)(忠)

忠和は序盤から攻勢に出る。9分以後方からのロングフィードに飛び出した山根が、相手DFに競り勝ち、GKのかわして先制点をあげる。14分には山根のスルーパスから井澤が抜け出して追加点をあげる。さらに29分には山根がペナルティエリア付近で相手DF二人をかわして3点目。後半には5得点のゴールラッシュ。山根のハットトリックの活躍で忠和が大勝した。

D2A 東光1 - 0 (0 - 0) 東川

得点者 宮田(57分)(東)

東光はディフェンスラインから一気に前線にボールをフィードしゴールを狙うが、東川は懸命の守備でしのぎ、前半はスコアレスのままで終える。後半東光の支配率が高まるが、東川も宮本を中心に体を張った守りで得点を与えない。しかし、57分田中からのスルーパスに反応した宮田がGKをかわして冷静にゴールに流し込み、決勝点を奪った。

D2B 明星0 - 0 (0 - 0) 北都

両チームとも一進一退の攻防を続ける。明星は大平、北都は高井を中心とした守備を崩せず、決め手を欠く展開が続く。後半も同様な展開で、シュート場面までつながらずスコアレスドローに終わる。互いに守備の健闘が目立った試合であった。

第8節 5月18日(日) コンサフィールド東川

D1 附属2 - 1 (1 - 0) コンサドーレ旭川

得点者 大塚(20分)、奥村(34分)(附) 細岡(37分)

高いDFラインと速いアプローチでコンサのFWにボールが収まらせない附属守備陣。シンプルでスピードにのった攻撃も見せ、20分には大塚がペナルティエリア前でGKと1対1になり確実に決めて先制する。34分には中盤でキープした石ヶ森のパスをオーバーラップした奥村が決めて2大雪ライオンズクラブとする。コンサも細岡、岡本の両サイドから崩しにかかるが、37分の細岡の得点だけに終わる。

D2C 東陽3 - 2 (1 - 0) 富良野西

得点者 矢野(15分、46分、54分)(東) 西原(50分)、熊谷(54分)

お互いに高いDFラインの裏をシンプルに狙う展開。東陽は15分ハーフウェー付近から抜け出した矢野が先制点を決める。次に試合が動いたのは46分相手クリアを拾って矢野が2対0とするゴールを決める。ここから富良野西が西原の個人技を中心に反撃。50分にはその西原がFKから抜け出して得点。さらに54分には熊谷がCKからコースを変えて同点弾をたたき込む。しかし、東陽は54分キックオフから矢野が抜け出しハットトリック完成させる決勝点をあげた。

D2A 神居1 - 1 (0 - 1) 東川

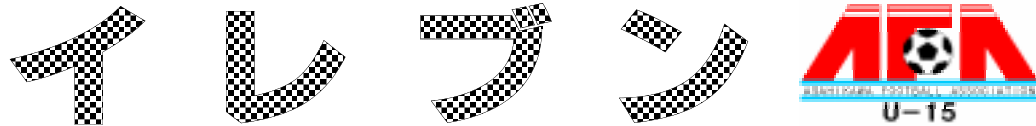
得点者 谷越(38分)(神) 宮本(29分)(東)

前半は東川がサイドを使った攻撃からペースを握り、29分右サイドのクロスから宮本がヘッドで決めて先制する。後半は神居がカウンターからチャンスをつくる。そして38分谷越が前線からのチェックからボールを奪って同点ゴールを決める。終盤は互いにチャンスを決めきれずドローに終わった。

D2C 美瑛13 - 0 (7 - 0) 鷹栖

得点者 福原(9分、10分、55分)、後路(12分)、金刺(18分、23分、26分、40分、42分、45分、52分)、浦島(29分)、O・G(32分)(美)

前半から美瑛ペースで試合は進む。鷹栖も全員守備で守るが、美瑛の鋭い攻撃に守りきれない。9分に浦島のロビングから福原が決めて美瑛が先制。1分後にはまたも福原がドリブルで中央を突破して2点目をあげる。12分には後路がヘッドで3点目をあげると、その後には金刺の一人舞台。18分の得点を皮切りに何と7得点の活躍。美瑛が鷹栖に圧勝した。



平成20年5月28日発行

優勝候補緑が丘と首位広陵が対決!

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、5月24日に第9節8試合が行われました。広陵中学校の第1試合では首位の広陵が緑が丘と対戦。優勝の行方を左右する重要な試合でしたが、両チームゴールをあげることができずスコアレスドローに終わりました。

第9節 5月24日(土) 広陵中学校

D1 緑が丘 0 - 0 (0 - 0) 広陵

前半互いにボールを奪い合う。緑が丘は豊田を中心に左右に展開。一方広陵は田中が中心となって中盤を支配し、松岡が組み立てるが得点できず。後半緑が丘は宮下のポストプレーからチャンスをつかみ、ゲームを支配する。広陵も終盤反撃に転じ、チャンスをつかむが得点できず。緑が丘の終了間際に混戦からの3本のシュートも得点ならず、首位攻防はスコアレスドローに終わった。

D2B 上富良野 1 - 0 (0 - 0) 増毛

得点者 畑中(32分)(上)

開始早々は増毛が林を中心に攻撃を組み立て、上富良野はカウンターから攻める展開。10分、19分には上富良野畑中が好シュートを放つ。後半に入り、32分上富良野は右サイドからのパスを畑中が裏へ抜け出て左足で先制点をあげる。この得点で勢いにのった上富良野のシュートチャンスが増え出す。しかし増毛もGK川淵がファインセーブを見せ追加点を許さない。試合はそのまま終了し上富良野が勝ち点3をあげた。

D2B 東明 2 - 0 (1 - 0) 明星

得点者 木下(29分)、松井(47分)(東)

中盤の激しいボールの奪い合いにより一進一退の攻防が続く。にDFの裏に出るボールでチャンスをつかもうとするが得点には至らない。東明はサイドからのチャンスをねらい中央の佐々木がをチャンスをつかもうとするが、明星田中が対応する。明星も広がりをもった攻撃でチャンスをつかもうとするが、東明DFのカバーで得点できない。29分東明は木下の30mのロングシュートで待望の先制点をあげる。後半は明星が押し気味に進めるが、東明は47分山川がPKを獲得。松井がきっちり決めて2対0で勝利した。



D2C 留萌 7 - 0 (2 - 0) 鷹栖

得点者 O・G(15分)、中土井(18分、41分、56分)、加賀(31分)、

大島拓(48分、59分)(留)

厳しいプレスから主導権は留萌がペースを握る。前線の中土井が起点となって鷹栖ゴールに迫るがシュートの精度を欠き、なかなかゴールを割れない。鷹栖は左サイドカウンターからゴールを目指すなかなかシュートには至らない。15分留萌はオウンゴールで先制する。すると3分後には渡瀬のスルーパスから中土井が決めて2点目をあげる。後半は31分に加賀が決めると、中土井がハットトリックを完成するなど7得点のゴールラッシュで快勝した。

花咲球技場

D2C 美瑛 2 - 0 (1 - 0) 神居東

得点者 金刺(11分、55分)(美)

前半は美瑛が細かいパスワークからチャンスをつかみ、11分金刺が福原からのパスを受けて先制点をあげる。神居東も阿部がチャンスをつかむが、美瑛GK畠に阻まれる。後半立ち上がりは神居東がペースを握り阿部を中心に攻めるが、美瑛も廣瀬を中心に守る。拮抗した展開の中、55分金刺が中央からドリブルシュートを決め美瑛が神居東を振り切った。

D2A 神居 5 - 1 (2 - 1) 富良野東

得点者 谷越(17分、39分)、白川(29分、51分)、吉田(43分)(神)

彦根(10分)(富)

前半両チームともに細かいパスで攻撃を組み立てる。10分富良野東彦根が中央からパスを受けディフェンス二人をかわして先制点をあげる。しかし神居は17分、谷越が右サイドでディフェンスの裏をとり、GKの1対1からループシュートを決めて同点においつく。さらに29分には白川がヘディングを決めて逆転に成功する。後半は神居が谷越、吉田、白川とゴールをあげ快勝した。

D1 附属 1 - 0 (1 - 0) 永山

得点者 大塚(15分)(附)

警告 浅野、森内(永)

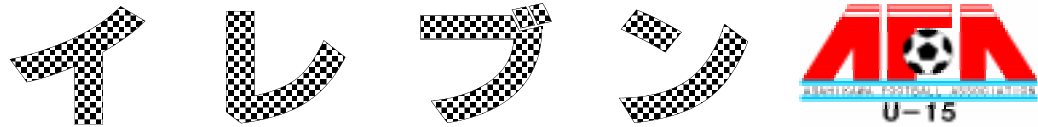
前半両チームとも中盤からの素早いアプローチで互角の勝負となる。次第に附属は両サイドを使ってペースをつかみ出し、楠が好シュートを放つ。15分右サイドからのスローインを受けた大塚がDFを一人かわしてペナルティエリアに進入しPKを得る。これを大塚が落ち着いて決めて先制する。永山も志摩、福沢らが決定的チャンスにからむが、得点できず。闘志あふれる好ゲームは附属が勝利した。

D2B 北都 4 - 0 (2 - 0) 聖園

得点者 若狭(2分)、O・G、高井(41分、59分)(北)

聖園は9名ながら素早いアプローチをみせる。しかし北都は2分左サイドのセンターリングをフリーの若狭が決めて先制する。その後北都は両サイドのスペースを中心に攻め込んでいくが、聖園DFのオフサイドトラップと粘りにあい得点できない。26分オウンゴールにより追加点をあげる。後半が北都高井が効果的なドリブルを見せ、チャンスをつくり、41分、59分と自らがゴールをあげた。

A	北星	神居	忠和	東光	港南	東神楽	東川	富良東	試合数	勝	分	敗	勝点	得点	失点	得失差
北星		1-0		8-1		1-1	2-0		4	3	1	0	10	12	2	10
神居	0-1				3-2		1-1	5-1	4	2	1	1	7	9	5	4
忠和					8-0	0-2		8-1	4	2	2	0	6	16	3	13
東光	1-8						1-0	10-0	3	2	0	1	6	12	8	4
港南		2-3	0-8			2-0		2-1	4	2	0	2	6	6	12	-6
東神楽	1-1		2-0		0-2				3	1	1	1	4	3	3	0
東川	0-2	1-1		0-1					3	0	1	2	1	1	4	-3
富良野東		1-5	1-8	0-10	1-2				4	0	0	4	0	3	25	-22
B	上富良	東明	北都	明星	中富良	バステ	増毛	聖園	試合数	勝	分	敗	勝点	得点	失点	得失差
上富良野		5-1	2-0				1-0		3	3	0	0	9	8	1	7
東明	1-5			2-0		3-1		1-0	4	3	0	1	9	7	6	1
北都	0-2			0-0	4-3			4-0	4	2	1	1	7	8	5	3
明星		0-2	0-0			2-0			3	1	1	1	4	2	2	0
中富良野			3-4			1-2	9-1		3	1	0	2	3	13	7	6
バステーク		1-3			2-1		0-1		3	1	0	2	3	3	5	-2
増毛	0-1			0-2	1-9	1-0			4	1	0	3	3	2	12	-10
聖園		0-1	0-4						2	0	0	2	0	0	5	-5
C	美瑛	春光台	永山南	神居東	留萌	富良西	東陽	鷹栖	試合数	勝	分	敗	勝点	得点	失点	得失差
美瑛		2-2	0-9	2-0	1-1	1-3	2-1	13-0	7	3	2	2	11	21	16	5
春光台	2-2			0-2		3-2	2-0	7-0	5	3	1	1	10	14	6	8
永山南	9-0				4-0			12-0	3	3	0	0	9	25	0	25
神居東	0-2	2-0				2-1		6-0	4	3	0	1	9	10	3	7
留萌	1-1		0-4				3-0	7-0	4	2	1	1	7	11	5	6
富良野西	3-1	2-3		1-2			2-3		4	1	0	3	3	8	9	-1
東陽	1-2	0-2			0-3	3-2			4	1	0	3	3	4	9	-5
鷹栖	0-13	0-7	0-12	0-6	0-7				5	0	0	5	0	0	45	-45



平成20年5月28日発行

啓北が暫定1位に躍り出る！

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグ

U-15北海道・旭川地区リーグ兼第6回イレブン杯春季リーグは、5月25日第10節9試合が行われました。神居東会場の第3試合では啓北と附属が対戦しました。互いに堅いディフェンスを見せる試合展開となりましたが啓北が1対0で勝ち、1試合消化が多いものの暫定1位に躍り出ました。優勝争いは啓北と1試合消化数がすくないため、勝ち点で2及ばない広陵、この日六合を下した緑が丘を中心に争われそうです。

第10節 5月25日(日)

D2C 神居東 2 - 0 (1 - 0) 春光台

得点者 村中(25分)、阿部(40分)(神)

神居東は三橋、春光台は矢吹を中心にゲームを組み立てる。前半は神居東が丁寧なパスをつなぎチャンスをつかむ。25分には右サイド驚見のセンタリング、三橋がゴール前に流したところへ走り込んだ村中が先制点をあげる。春光台も朝倉が幅広い動きを見せるが神居東も齋藤大を中心として堅い守備を見せる。後半は驚見、阿部の右サイドが機能。40分齋藤大からのロングパスが抜け出した阿部が2点目のゴールをあげ、快勝した。



D1 神楽 1 - 0 (1 - 0) 愛宕

得点者 綿谷(23分)(神)

前半神楽はMF首藤を中心に細かいパスワークで、主に左サイドからチャンスをつくる。一方愛宕はFW越智を走らせるロングボールで神楽DFラインの裏をねらう。しかし、神楽のオフサイドトラップにひっかりチャンスにつながりにくい。23分神楽は左サイドの首藤FKから混戦となり、最後は綿谷が押し込んで先制する。後半も神楽は首藤が中盤で効果的なドリブル突破からスルーパスを送り、谷口が好シュートを放つ。終盤愛宕のパスもつながり始め、越智の飛び出しから決定的なチャンスをつくるが決めきれず。神楽は小林がラインをコントロール。綿谷、寺林が粘り強い守備で愛宕を完封した。

D1 啓北 1 - 0 (0 - 0) 附属

得点者 山内(35分)(啓)

警告 佐藤(附)

序盤10分過ぎまで両チームとも一進一退の攻防が続く。附属は啓北のDFラインの裏をねらい、大塚、石ヶ森が走り込むが、啓北も高橋竣、茂木がよく対応する。啓北は山内の配球から藤原、笠原の突破によってチャンスをつかむ。両チームとも決定的なチャンスはなく前半は終了する。35分啓北は笠原からのDFラインの裏にでたボールに藤原が追いつきセンタリング。山内がダイレクトで合わせて先制点を奪う。徐々に附属の足が止まり始め、山内、藤原、笠原で何度も決定機を作り出す。しかし、追加点はあげられず。附属も大塚、中田のドリブルから同点のチャンスをつかむが及ばずタイムアップ。

D2B 中富良野 9 - 1 (4 - 0) 増毛

得点者 斉藤(3分、6分、43分、45分、56分)、中島(15分)、

鈴木(16分、40分、58分)(中)川井(39分)(増)

立ち上がり3分中富良野は数的優位を生かしてゴール正面にこぼれたところを斉藤が豪快にボレーシュートを決めて先制する。さらに6分には増毛DFのミスを見逃さず再び斉藤が蹴りこむ。9人の増毛も林を中心に工藤、川井がからんで反撃を試みる。しかし、人数の差はいかんともしがたく、中富良野は15分中島、16分鈴木と着実に加点。増毛も39分林とのリターンパスから抜け出した川井が1点を返すが、その後は中富良野のゴールラッシュ。斉藤が5得点、鈴木がハットトリックを達成して大勝した。

永山南中学校

D2C 永山南 12 - 0 (6 - 0) 鷹栖

得点者 山本(1分、3分、7分、23分、29分、41分、58分)、藤原貴(13分)、
梶谷(33分)、O・G(38分)、安念(53分、57分)(永)

開始早々永山南は片山の右クロスから山本が合わせて先制する。その後も落ち着いてボールをまわし、ゴール前の山本、藤原貴にボールを集め3分、7分に山本、13分に藤原貴が追加点をあげる。DFラインを押し上げ、クロスボールなども加え厚みのある攻撃を行う永山南に対し、鷹栖も体を張ってディフェンスする。終始ボールを支配した永山南は山本の7得点の活躍などで圧勝した。

D1 永山 2 - 1 (1 - 1) 北門

得点者 佐藤(15分、57分)(永)中西(24分)(北)

前半北門はMF中西からの縦パスを佐藤、鈴木が受ける形となりリズムを作る。永山は西本を中心にDFラインをつくり、GK浅野の好判断もあり北門の攻撃を跳ね返す。15分永山はクリアボールを受けた佐藤が左のスペースへ。志摩がトップスピードで縦へ抜け出てセンタリングを送ると、佐藤がヘディングシュートを決め先制する。しかし北門は24分高橋龍からの縦パスを中西がオフサイドラインを破ってシュートを決め同点に追いつく。後半両チームとも中盤でコンパクトな試合を展開し一進一退の攻防の中、互いに決定的場面を決めきれない。57分永山は左からのセンタリングを北門守備陣が手間取る感に佐藤が高さを生かしてゴールに押し込み決勝点をあげた。

D2C 留萌 1 - 1 (0 - 1) 美瑛

得点者 中土井(45分)(留)嵯城(18分)(美)

前半留萌は中土井を核にゲームを展開。美瑛は金刺、福原大のコンビネーションでゴール前につめるが、留萌GK石川の好守に阻まれ得点できない。18分美瑛は金刺のFKから嵯城がヘッドで決めて先制する。後半は両チームともボール際に厳しい攻防が続き好機を作れない。45分留萌は渡瀬からのパスを受けた中土井がドリブルで相手DFをかわし同点ゴールをたたき込む。終盤福原大のプレーなどで美瑛がチャンスをつかむが決めきれず、ドローに終わる。

D1 緑が丘 2 - 0 (1 - 0) 六合

得点者 近江(18分)、豊田(50分)(緑)

前半両サイドからゴール前にクロスボールを入れてチャンスをつくる緑が丘に対して六合DF陣がよくしのぐ。六合は渡辺、柳原を中心に攻撃を繰り返していたが、両チームとも決定的なチャンスを作れない。少しずつリズムがよくなってきた緑が丘は、18分右からのFKをゴール前に入れると、六合DFがクリア。こぼれ球を中央からシュートを放つとゴール前で近江が素速く反応し角度を変えて先制点となる。後半は緑が丘が中盤でボールをさわる機会が多くなり、緑が丘ペースで試合は進む。50分右からの折り返しのボールからゴール前の混戦となり、こぼれた球を最後は豊田がGKの頭上越しに蹴りこんで緑が丘が勝利をつかんだ。

D2A 港南 2 - 1 (1 - 1) 富良野東

得点者 土田(24分、48分)(港)彦根(2分)(富)

開始2分富良野東はゴール正面に蹴りこまれた高く弾んだボールを彦根がGKをかわして蹴りこんで先制する。中盤でのボールの奪い合う展開の中、港南は24分土田が左サイドのFKを直接決め同点に追いつく。その後は富良野東GK佐藤の前への飛び出しなどで、両チームともチャンスを生かせない展開が続いたが、48分港南土田が決勝点をあげた。

D1	啓北	広陵	コンサ	緑が丘	神楽	附属	北門	愛宕	永山	六合	勝	分	敗	勝点	得点	失点	得失差
啓北	-	0-1	0-0		1-0	1-0			2-0	2-1	6	4	1	13	6	2	4
広陵	1-0	-	0-0	0-0					5-1	1-0	5	3	2	11	7	1	6
コンサ	0-0	0-0	-		0-1	1-2	1-1	1-2	1-0	2-1	8	2	3	9	6	7	-1
緑が丘		0-0		-	1-1	3-0				2-0	4	2	2	8	6	1	5
神楽	0-1		1-0	1-1	-		0-0	1-0			5	2	2	8	3	2	1
附属	0-1		2-1	0-3		-	0-2	1-1	1-0		6	2	1	7	4	8	-4
北門			1-1		0-0	2-0	-		1-2		4	1	2	5	4	3	1
愛宕			2-1		0-1	1-1		-		1-1	4	1	2	5	4	4	0
永山	0-2	1-5	0-1			0-1	2-1		-		5	1	0	4	3	10	-7
六合	1-2	0-1	1-2	0-2				1-1	-		5	0	1	4	1	3	-5